



下末吉だより

平成31年4月26日

5月号

横浜市立下末吉小学校

多様性を尊重し、つながりを大切に

副校長 仙田 宏之

「横浜教育ビジョン2030」が平成30年3月に発行されて1年が経ちました。その中に記されている「多様な価値観や個性を尊重し、子どもや学校を取り巻く、様々な「ひと、もの、こと」のつながりを大切にします」という文言が私はとても気に入っていて、そうありたいと強く思っています。

一人ひとりの多様な価値観や個性が「よさ」としてみんなに受容され、尊重される学級・学校を保護者・地域の皆様とつながりながら創っていったら最高だと思います。

その実現のために、自分に何ができるか考えました。

まず、全校児童の顔と名前を覚えること

次に、全校児童一人ひとりの「よさ」を見つけること

そして、保護者・地域の皆様に見つけた「よさ」を言えるようにすること

児童や教職員とつながりながら学んだ多様な価値観や個々の「よさ」を学校や地域にとっての財産と考えて、伝えていきたいと思えます。

本校には、例えば、こんな「よさ」をもった子どもたちがいます。

- ① 毎日、きちんと挨拶ができる。
- ② 人の話を最後まで聞くことができる。
- ③ 下級生に優しく声をかけることができる。
- ④ きちんと靴を揃えることができる。 ……等々

一見、当たり前と思えるようなことも、人によっては、すごく大変なこと、苦手なこと、難しいことであったりします。それができていることは当たり前でなく、実はすごいことなのではないでしょうか？また、一見短所に見えるようなことでも見方を変えるだけで別のよさに見えたりもします。

自分とつながるたくさんの人々の多様な価値観や個性、よいところを発見し、それを大切に思い、伝えていくことでたくさんの人々とつながっていききたいと思えます。これからもよろしくお願ひいたします。

